

日本臨床衛生検査技師会
災害対策本部宛て

被災地支援班
報告者氏名:河野 裕樹
報告日時: 令和 6年 3月 4日

令和6年能登半島地震災害おける災害派遣チームの活動を下記のとおり報告します

活動日時	令和 6年 3月 3日
活動場所(避難所等)	能登町(柳田小学校、能登町役場、宇出津小学校)、珠洲市(若山小学校)
活動主目的	DVT検診(Dダイマー、下肢静脈超音波検査)、弾性ストッキング着用指導、血糖測定
帯同医療チーム名	福井県臨床検査技師会
【具体的な活動内容】	
1. 参加者	
参加者は以下の8名、	
リーダー:河野 裕樹(市立敦賀病院)、金 寛宰(独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター)	
武田 泉(福井大学医学部附属病院)、旭 ななえ(福井大学医学部附属病院)、新免 望(福井大学医学部附属病院)	
川端 しのぶ(市立敦賀病院)、近藤 まなみ(公立丹南病院)、渋谷 翼(公立松任石川中央病院:診療放射線技師) 順不同	
2. 活動時系列	
第1日目 3月2日(土)	
16:00 敦賀組 レンタカーを借り受け、敦賀を出発(河野、川端、金)。レンタカーは、ホンダステップワゴン(6人乗り)。	
17:00 福井組 レンタカーを借り受け福井大学を出発(武田、旭、新免、近藤)。レンタカーは、トヨタセダン((5人乗り)。	
17:45 敦賀組 石川県金沢市 アパホテル金沢駅前に到着。先に到着済みの渋谷さんと顔あわせ。	
18:35 福井組 同ホテルに到着。	
第2日目 3月3日(日)	
6:00 ロビーにチーム員集合し顔合わせ。DVT検診決定連絡を受けて出発する。	
8:00 のと里山海道を利用し、穴水総合病院に到着。途中西山PA、高松SAにて休憩。	
8:45 物品等を搬入し、能登町に向けて出発。	
9:45 能登町柳田小学校に到着し、検診準備、検診を開始する。	
11:00 柳田小学校での活動は終了し、撤収した。	
11:15 能登町役場へ向けて出発。	
11:35 能登町役場に到着し、金・旭の2名のみ降ろし検査を実施。以上2名を残しつつ、敦賀組は宇出津小学校へ向かう。	
12:00 敦賀組宇出津小学校に到着。川端・渋谷の2名を下ろし検査実施、その後能登町役場に戻る。	
12:05 能登町役場で受検者1名追加、画像ダブルチェック目的で近藤参加。	
12:50 珠洲市若山小学校へ向けて出発。	
13:40 珠洲市若山小学校に到着。待機指示あり。	
13:50 若山小学校にて検診準備、検診開始。先に施行している石川県チームの補助的役割。	
14:55 活動終了、撤収作業開始。同時に、日臨技提供物品の使用状況をチェックした。	
15:00 穴水総合病院に向けて出発。	
16:10 福井組穴水総合病院に到着。	
16:35 敦賀組同病院に到着(ナビ設定ミスにより到着遅延した)。物品等の搬出を行った。	
16:45 解散し、帰福する。	
19:35 福井組解散する。	
20:25 敦賀組解散する。	

3. 活動内容とその詳細

- | | | |
|-------------------------------|--|------|
| 1) 下肢静脈超音波検査 | 能登町:柳田小学校避難所(6件)、能登町役場(2件)、宇出津小学校避難所(1件)
珠洲市:若山小学校避難所(3件) | 計12件 |
| 2) D-ダイマー測定 | 今回なし | |
| 3) 血糖測定 | 柳田小学校避難所(施行1件) | |
| 4) 弾性ストッキング着用指導。 | | |
| 5) DVTスクリーニング前問診、血圧測定、酸素飽和度測定 | | |

6) 活動まとめ

超音波検査前に問診と血圧測定、酸素飽和度を測定した。今回、問診と下肢静脈エコーを同時に行った。

また、以前施行したDVT検診にて血栓の指摘を受けた方のフォローアップが2件あった。

そのうち1件は血栓消失、もう1件に関しては血栓の残存を疑ったことより、引き続き弾スト着用を促した。

今回、件数が少ないことも要素として考えられるが、新規のDVT症例は見られなかった。

耳朶血による血糖測定が1件あった。

4. 日臨技報告活動経費

1) 敦賀組経費

①レンタカー利用料金45,100円(保険を含む)、②ガソリン代8,532円、③高速道路代金6,800円、④タクシー代1,020円

⑤前泊駐車料金1,300円

合計62,752円

※タクシー代はレンタカー返却後、帰院する為に利用(敦賀駅-市立敦賀病院)

2) 福井組経費

①レンタカー利用料金25,300円(保険を含む)、②ガソリン代3,402円、③高速道路代金3,800円、④前泊駐車料金900円

合計33,402円

3) 福井県チーム経費合計 96,154円

5. 活動課題

今回、件数が少なかったことから、課題となるものは抽出できなかった。気付いた点や継続できたら良い点を挙げる。

1) レンタカーについて

今回、レンタカーはワンボックスカーとセダンの2台契約した。1台をワンボックスカーにしたことから、物品の搬入は非常にスムーズであり、スペースも余裕があった。セダン2台にメンバー8名であった場合はかなり厳しいと思われる。

2) 日臨技残物品の確認について

今回、日臨技より支給された物品の残数を、最後に訪れた避難所で確認を行った。これにより解散時がスムーズになった。

3) 検診時の問診について

今回、問診はエコーを施行しながら行った。この方法が最も効率が良いと考えられた。

6. まとめ

前回までと比較すると、DVT受検者が少ない為課題などの抽出は難しい。しかし、エコーを施行しながら問診をとる方法は効率の良い方法であると考えられた。今後、受検者数が多い場合でも円滑にまわせると考えられる。

また、前回までの課題として挙がっていた物品残確認も、手際よく出来たと考えられる。

現時点で他県チームの件数把握ができていないが、何故受検者数が少なかったのか検討の余地があるとする。

以上